

川越で子育てをしながら、タウン誌を編集発行。きもの文化を次代に伝えるNPO活動や蕨の地産地消に取り組む。



大学にて観光ガイド実習の講義も担当。

事例 共通のテーマで地域をつなげる

県内各地には地域に根ざし、キラリと輝く活動を行っているひとや団体がたくさんいます。私の役割はそんな方たちを“見える化”してつなげる編集者のようなもの。「共通のテーマ」でつなげればそれぞれの個性がより引き立ち、意外な展開も生まれます。

★絹と木綿のものがたりフォーラム

県西部のJR八高線や西武線沿線の町々を「シルク・織物」の視点でつないでみると、高崎、八王子、青梅、横浜など、県境を越えた27の市民団体のネットワークができました。平成28年11月「絹と木綿のものがたり—糸でつながるまちづくり」として一堂に会するフォーラムを開催。県繊維工業試験場入間支場だった のこぎり屋根の建物に多くの方が集まりました。

(特非)入間市文化創造ネットワークが事務局となり今後も継続していく予定です。他にも日光街道の宿場をつなぐコンソーシアムや、荒川流域を民話でつなぐ「埼玉県民話語り協議会」など、各地で広域連携も始まっています。古民家再生やこども食堂なども、共通のテーマで県民のみなさんがつながることで、また新しいかたちのコミュニティが生まれるのではないのでしょうか。



Voice 1



「共助社会の実質化にむけて」

大高 研道 氏 (明治大学教授)
埼玉県共助社会づくり推進委員会委員長

埼玉県は「共助社会づくり」を一つのスローガンとしています。「共助」という言葉には「共に助け合う」人びとの姿をイメージさせる素敵な響きがあります。まさに、今の時代が求めている社会の姿を表していると思います。と同時に、「誰が誰を助けるの?」「誰と誰が助け合うの?」といった曖昧さを感じている方もいるかもしれません。

たとえば、もし、これまで行政が実施してきたことを財政的な理由だけで地域住民が担うという「共助」であれば、それは巷で言われているような「自助努力」とあまり変わらないものとなります。しかし、行政も市民も、元気な人も困難を抱えている人も、市民同士が互いの力を認め合い、地域を創っていく主体へと共に成長する社会を構想した時、真の意味での信頼に基づいた助け合い(共助)の関係が実質化します。現代社会は人と人がつながりにくい「孤立・分断社会」といわれています。その中で、何かを実現するための手段としての「つながり」だけでなく、「つながる」こと自体を目的とする地域づくりの試みが世界中で注目されています。「共助仕掛人」は、まさに地域の思いと財産を掘り起こし、人と人をつなぐ扇の要(かなめ)の役割を担っています。その力がこれまで以上に発揮されることを期待しています!

川越市

にここ食堂

コックさんも募集中!

- ◆自治会が運営する日替わりコックさんの店
- ◆こども食堂も始めました



◀写真中央 浅葉まゆ美さん



運営 川越市霞ヶ関北自治会支え合い部
TEL/FAX 049-298-6696



こども食堂や地域食堂、コミュニティカフェ、

さいたま市

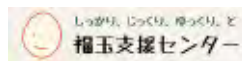
(特非)埼玉広域避難者支援センター

通称: 福玉支援センター

埼玉県内に避難している方々が生活を再建し、安心して暮らせるコミュニティづくり

- ◆広域避難当事者や支援者の団体への中間支援
- ◆広域避難に関する相談会・説明会の開催
- ◆『福玉便り』発行

HP <http://fukutama.org>
メール fukutama@431279.com



事例

和光市発！県内に広がる子育て支援！！ 子育て中の親子を地域が支える『ベビーカーコンサート』

★ベビーカーコンサート(平成25年から和光市にて開催)

コンサート会場は「未就学児はご遠慮ください」がほとんど。ところがこのベビーカーコンサートは、乳幼児と子育て世代を対象にしたコンサート。「0歳からOK」「泣いても騒いでも大丈夫」が特長。約40分の演奏で、東京藝術大学出身の演奏者が芸術性の高い音楽を提供するだけでなく、お子さんが退屈しないようにマラカスを使用したり、動物の絵を見せながら親子に歌ってもらうなどの工夫をしています。専門家ボランティアの櫻井幹三氏(みにこん会代表・和光市)は「埼玉県内の子育て中の親子に良質な音楽を聴かせたい」という強い思いをもっていました。

そこで、私と櫻井氏から他の共助仕掛人や県共助社会づくり課に県内に広げることを提案。それから1年あまりで、新たに県内5市で開催されました。

- 主催**▶ 各地域で活動する子育て支援団体やシルバー団体
(コンサートを視察した団体が自分のまちでも開催したいと手を上げたり、共助仕掛人がマッチング)
- 人材**▶ 櫻井氏がコンサート開催のノウハウを主催団体に伝授、演奏家を派遣
- 資金**▶ 団体の状況により助成金を紹介

朝霞市
川口市、川越市
さいたま市
ふじみ野市

さいたま市

(特非)フードバンク埼玉

(旧・フードバンク埼玉運営協議会)

TEL 048-833-8731

FAX 048-833-8746



所沢市

(特非)フードバンクネット西埼玉



HP <https://www.fbn-nishi-saitama.com/>

東松山市

(特非)チーム東松山

代表理事 松本 浩一さん

- ◆ コミュニティカフェ
- ◆ 環境まちづくり
- ◆ 被災地復興支援



HP <http://npothm.hiki.tv/>

TEL 090-2328-8518



『ベビーカーコンサート』は、0歳の乳幼児から参加ができ、泣いても騒いでも大丈夫なコンサートです！

4人の「共助仕掛人」の協力により、県内各地区の主催団体とネットワークが構築されました。県内への波及を検討してから、わずか1年余で県内5か所に広がり、いまや関東地方や全国にも広がる予感。

人に良い・共感できる発想であれば、皆さんが応援してくれますよ！



みにこん会(和光)代表
櫻井 幹三さん

Facebook

<https://ja-jp.facebook.com/babycarconcert/>

TEL 080-5037-7177

川口市

ウーマンプラス

- ◆ 夕暮れ食堂
地域の子供から大人まで、誰でも利用できます。



Facebook

<https://www.facebook.com/events/1761566630724760/>

さいたま市

(特非)さいママ

- ◆ 産後ママ、育児中ママ、育児世帯のママの支援活動
- ◆ 子育て支援
- ◆ 家事お手伝い



HP

<http://www.saimama-npo.org/>